

ILO100周年記念 労働CSRセミナー

外国人労働者のディーセント・ワークと 人権をめぐる課題と労使の対応

グローバル化が加速するなかで、国を超える人の移動は急増しており、ILOの報告によれば、世界の広義の移民労働者数は約1億6000万に達しています。ILOは、今年で創立100周年を迎えましたが、移民労働者の問題は仕事の未来に関する重要課題の一つに位置づけております。また、昨年12月には、国連総会で「移住グローバル・コンパクト」が採択され、移民の権利保護の枠組みが確認されました。わが国の外国人就労者は200万人を超えるといわれ、高度人材の雇用や非熟練労働者の受入れが大きな課題となっております。本セミナーでは、それらの情勢を踏まえ、外国人労働者のディーセント・ワークと人権をめぐる課題と労使の対応を検討し、今後を展望します。

入場無料

要事前申込

日時: 5月31日(金) 14:00～17:30(開場13:30)

場所: 上智大学 四谷キャンパス 2号館17階 国際会議場

使用言語: 日本語および英語(同時通訳付)

対象: 企業、労組、行政、市民、学生、教職員、一般の方

開会・司会: 長谷川 眞一 氏 (日本ILO協議会 専務理事)

開会挨拶

田口 晶子 氏 (ILO駐日事務所代表)

プテンカラム ジョン・ジョセフ 氏

(上智大学グローバル化推進担当理事・経済学部教授)



長谷川 眞一



田口 晶子



プテンカラム
ジョン・ジョセフ

基調報告「アジアにおける労働移動の状況と課題」

ニリム・バルア 氏 (ILOアジア太平洋地域総局・労働移動上級専門家)

特別報告「外国人労働者の雇用に関する現状と課題」

古舘 哲生 氏 (厚生労働省職業安定局・外国人雇用対策課長)



ニリム・バルア



古舘 哲生



吉本 譲二

事例報告1「グローバル企業と外国人労働者の課題」

吉本 譲二 氏 (株式会社アシックスCSR統括部・CSR・サステナビリティ部長)

事例報告2「外国人労働者の組織化と労働組合の課題」

古山 修 氏 (ものづくり産業労働組合 JAM 組織化推進局長)



古山 修



沢田 貴志



浦元 義照

事例報告3「外国人労働の課題とNGOによる取り組み」

沢田 貴志 氏 (国際保健協力市民の会(シェア)副理事長・医師)

パネルディスカッション「外国人の働き方と人権をめぐる課題と労使の対応」

パネリスト: 上記 基調報告、事例報告の報告者と、以下のコメンテーター

コメンテーター: 浦元 義照 氏 (上智大学グローバル教育センター教授)

龍田 久美 氏

(グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン 人権教育分科会 幹事、

オリンパス(株) 人事 戦略企画 ダイバーシティ 課長)

モデレーター: 熊谷 謙一 氏 (日本ILO協議会 企画委員)



龍田 久美



熊谷 謙一

主催: ILO駐日事務所、日本ILO協議会(NPO法人)、上智大学
協賛: グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン、日本生産性本部

申込はこちら
<https://eipro.jp/sophia/>

